

112号  
2024.2.26

さらなる  
復なる  
旧・復興

# 経済

くまむら議会だより

こうもり橋と  
槍倒しの瀬

もくじ

議長あいさつ	2
12月定例会	3
一般質問	5
編集後記	12



# 「復旧復興を加速し、飛躍の年に」



はじめに、この度の能登半島地震によりお亡くなりになられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された方々にお見舞いを申し上げます。被災地の一日も早い復興を心よりお祈りいたします。

改めまして、村民の皆様には謹んで新年のご挨拶を申し上げます。また、日頃から議会に對しましてご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

球磨村においても、令和2年7月豪雨では甚大な被害を受け、現在も復旧復興に全力で取り組んでいるところが、自然災害はいつどこで発生するかわかりません。改めて、自らの命を守るために日頃から災害に対する心構えを持つことと、今後村が取り組むべき「災害に強い村づくり」への思いを強くしたところでございます。

さて、昨年は6月に一勝地、8月には渡に災害公営住宅が完成し、一部ではありますが、安心して住むことのできる生活が始まりました。また、神瀬地区の宅地かさ上げや塚ノ

丸宅地造成工事も行われ、被災された皆様の生活再建が少しずつ前に進んだ年となりました。

今年の4月からは義務教育学校「球磨清流学園」が開校することとなり、子ども達の健全な成長を育む体制が一步步ずつ整えられています。一方で、安心して住むことができる宅地造成や宅地かさ上げ事業、国の遊水地や引き堤の整備事業など生活再建に

時間がかかる方もいらつしやいます。豪雨災害からの早期の復旧復興と、村民が安心して安全に暮らせる球磨村を目指して、議会も一丸となって

頑張つてまいりますので、本年も村民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

令和6年は甲辰きのえたつの年であり、「物事の始まり」と「大きな成長」の年です。皆様にとりまして、本年が幸多き年になりますよう心からご祈念申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。

令和6年1月吉日  
球磨村議会議長 舟戸 治生

# 12月定例会

12月定例会は、12月8日から13日までの6日間で開催され、承認1件、議案8件が上程され、原案のとおり承認・可決しました。一般質問では6人が登壇し、各種施策・行政課題について執行部の考えを質問しました。

## 承認

○専決処分の報告について  
(令和5年度一般会計補正予算第8回)

「第2回球磨川リバイバルトレイルショートin球磨村」大会開催に伴う実行委員会負担金を50万円増額。

## 契約

○工事請負変更契約について

「村道第二田代線道路路災害復旧工事(7月迄)その2」において、契約金額を370万3,953円追加し、1億1,337万3,953円に変更する変更契約を原案のとおり可決。

## 条例

①球磨村一般職の職員の給与に関する条例及び球磨村一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について  
人事院給与勧告に基づき、月

例給及び期末勤勉手当の年間支給率を引き上げる改正。

②球磨村国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

国民健康保険被保険者の産前産後期間について、国民健康保険税の軽減制度の創設に伴う改正。

## 予算

①令和5年度球磨村一般会計補正予算について

第9回補正予算は2億1,110万6千円を追加し、総額78億5,506万8千円となりました。

歳出の主なものについては次の通りです。

○総務管理費では、県から譲渡を受ける**グラウンド側木造仮設住宅の改修工事**において関係経費の増加ため**4,600万円を増額**。

○災害対策費では、都市防災総合推進事業補助金を活用し、**総合運動公園内の施設の配置基本計画と併せて施設の設計費2,100万円**を計上。

○加えて同補助金を活用し、**渡遊水地内の公園整備に係る基本計画策定業務委託料1,310万円**を計上。

○農地費では、遊水地内の代替地予定となつている**尾緑地区内の農地測量設計業務委託料を650万円**計上。

②令和5年度球磨村国民健康保険特別会計補正予算について

今回の補正で4,245万3千円を追加し、総額5億3,724万1千円となりました。

③令和5年度球磨村後期高齢者特別会計補正予算について

今回の補正で10万円を追加し、総額6,072万6千円となりました。

④令和5年度球磨村介護保険特別会計補正予算について

今回の補正で2,110万1千円を追加し、総額7億3,312万8千円となりました。

## 追加上程

### 予算

①令和5年度球磨村一般会計補正予算について

第10回補正予算では7,845万5千円を追加し、総額79億3,352万3千円となりました。

歳出の主なものについては次の通りです。

○新型コロナウイルス感染症対応地方創生事業費では、**特用林産物種苗購入費の補助金160万円、商業者に対する支援金として500万円**を計上。

○物価高騰対応重点支援地方創生事業費で、**1人あたり1万円の商品券配布の予算**を計上。

○加えて、LPガス使用世帯への追加支援4千円と令和5年度住民税非課税世帯に対して1世帯あたり7万円の追加給付。

○教育費の事務局費では、義務教育学校入学及び進学準備金として、**入学前に3万円、7年生への進学前に5万円を給付**。

# 12月定例会 審議した議案と審議の結果

議案番号	件名	結果	賛成	反対
承認第8号	専決処分の報告及び承認について（令和5年度球磨村一般会計補正予算第8回）	原案承認	9	0
議案第59号	工事請負変更契約の締結について（村道第二田代線道路災害復旧工事（7月災）その2）	原案可決	9	0
議案第60号	球磨村一般職の職員の給与に関する条例及び球磨村一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	9	0
議案第61号	球磨村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	9	0
議案第62号	令和5年度球磨村一般会計補正予算について	原案可決	9	0
議案第63号	令和5年度球磨村国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決	9	0
議案第64号	令和5年度球磨村後期高齢者医療特別会計補正予算について	原案可決	9	0
議案第65号	令和5年度球磨村介護保険特別会計補正予算について	原案可決	9	0
議案第66号	令和5年度球磨村一般会計補正予算について	原案可決	9	0

（採決の人数は、議長を除く9名）

どなたでも傍聴できます。  
ぜひ、おいでください。

12月定例議会の傍聴人数は延べ**14人**でした。

※会議録は「球磨村ホームページ」→「行政情報」→「球磨村議会」→「会議録（一覧ページ）」で閲覧できます。



## 人口減少の抑制（歯止め）対策は

田代 利一 議員



**答** 二王子団地や塚ノ丸団地の工事が着実に進んでいる。また、空き区画の募集を掛けている。

**問** 塚ノ丸の空き区画の理由は。

**村長** 早々の整備が進めば、村外に出る人も少なかっただろうと思う。

**問** 村は復興計画に基づいて事業を進めて来たと考ええるが、もうこれ以上転出が進まないよう努めていただきたい。

**村長** 仮設住宅を県から譲り受けて公営住宅にするという方向性である。村内の土地を見つけてそこに移転させることで、移住定住に向けた取り組みを行いたい。

**問** 人口流出にならないよう、早めに対応感を持ってお願いしたい。

**村長** 農林業の振興や観光づくり、移住・定住の促進、そして子育て支援などに取り組んでいる。



整備が進む塚ノ丸団地

**問** 村長が描く村の将来像は。

**村長** 災害が起こっても不安のない暮らしが実現すること、そして球磨川と流域の豊かな自然を生かしたエネルギーの地産地消等、環境と共生した暮らしが実現すること、移住定住する若者が増えることなど、未来に向けて持続可能で豊かな全ての村民が生き生きと暮らせる村づくりを進めてゆく。

**問** 来年度から義務教育学校で行なう魅力ある教育内容は。

**教育長** 1点目に、1年生から9年生までの9年間を通して系統的に行なう「くまむらふるさと学」を創設していきたい。ふるさと球磨村を学び、郷土に対する愛着と誇りを育みたい。

2点目に、プログラミング教育。今後ますます発達していくICT・IT社会に積極的に関わる人材を育み、子供たちの自己実現のための大きな基盤の一つとなり得るよう取り組む。

**問** 球磨村は森林サービス産業推進地域に登録されている。豊かな森、宝でもある森を活用してどのような取り組みを行なっているか。

**教育課長** 豊かな森や棚田等、里山、山里をフィールドに、いかに資源を活用して取り組んでいくかという事業だと思っている。

**問** 球磨村では、保護者への経済的負担を軽減するため様々な支援が行なわれている。今後の更なる支援計画は。

**教育課長** 学校給食費については、本年度から全額助成としている。来年度入学する1年生に対しては入学準備金、中学1年生（7年生）に対しては進級準備金を支給することを検討している。

**問** 具体的な金額は。

**村長** 入学準備金3万円、7年生円を支給するということが今回上程させていただきたい。

**問** 義務教育学校の整備状況は。

**教育課長** 現在、改修に伴う設計を行なっている。設計ができれば、できるだけ早く工事に着手し、快適な環境の中で子供たちが過ごせるようにしたい。

学校についての判断、村長自身のこだわりがあったのか、なかったのか 東 純一議員



**答**

自身のこだわりというものはない。今後しっかりと議会と共に検討していくところをどう理解をいただきたい。

**問**

球磨清流学園について、当面の間、一勝地区区での一体型建設は行わず、分離型で運営していくとされた。総合的に考えた答えだったのか、村長自身のこだわりはなかったのか。

**村長**

当面は、施設分離型による運営をさせていただき、時間をかけてしっかりと協議をしていきたい。

**問**

治水対策について、遊水地、道路の高上げ、農地の再生等、現在の村内流域においての計画進捗状況はどうであるか。また、運動公園については、当面の間は白紙の考えなのか。

**村長**

村内の球磨川流域治水対策事業は、現在、国、県によっ

て進められている。

渡総合グラウンドの今後の使用については、一帯を「復興まちづくり計画」で示したとおり、地域の防災拠点として活用することとしている。農地再開については、当初、遊水地内に営農エリアを設置することとしていたが、遊水地内の農地には、築造が制限されること等から、遊水地内に営農エリアを設置することを断念した。現在は、渡の尾緑地区内に営農エリアを設定することとし、営農再開に向け取り組み、令和7年度末からの営農再開を目指している。

**問**

人口問題について、3年間で1,321人の減で、減少率が41.2%と報道がなっていた。

待ちきれない思いも多いのではないかなと感じるが。

**村長**

球磨村に籍を残したまま、村外に出ておられる方も復興を待ちきれずに村外に出られる方も出られた方もたくさんおられます。出ていく人をやっぱり減らす工夫もしなければならぬ。よそから来ていただく、そういった政策もしっかりと併せて取組んでいくことで、人口減少を少しでも抑えていくことで考えていきたい。

**問**

住める住宅、住める宅地、人口流出を防ぐためにも対策を急ぐ必要があると思うが。

**村長**

村内にあの仮設住宅を移転するところがないか、使い方も含めて、しっかり考えていかねければならない。地域としっかり相談しながら進めてまいりたい。

**問**

球磨村には、球磨川ばかりでなく、豊かな山々、美しい棚田、温泉がある。そういった森林や棚田を活用した体験型の観光による集客はできないか。

**村長**

村民が求める心の安らぎの場として、総合運動公園、遊水地内と渡小学校周辺の総合的な活用方を考慮しつつ、施設の整備を検討している。



今後の利活用が課題となる渡総合運動公園

## 球磨清流学園開校に向けて、危険な通学路、通勤路の解消策は

板崎 壽一 議員



**答** 教育委員会は球磨村通学路推進会議を毎年行っており、危険箇所等については情報を共有し、対策を講じてきている。

### 問

球磨清流学園開校に向けて、校舎等の改修工事、改善工事など進行中だが、水害とは別として、以前から危険と言われている一勝地区の通学路、通勤路の道路は狭い、離合出来ないと言われている危険箇所等の解消する施策はどうなっているのか。

### 村長

一勝地区の危険な通学路、通勤路は、県道人吉水保線の友尻、宮園間であると認識している。しかし、水害で大きく路面が陥没し、現在も通学に支障をきたしている。ただ、教育委員会では、球磨村通学路推進会議を行っており、緊急を要する案件や危険箇所については、情報を共有し、対策を講じてきている。



友尻から宮園間のガード下の通学路

### 教育長

教育委員会が行う球磨村通学路推進会議とは、水害で危険な区域は別として、以前から各学校が通学に危険な区域等を現地まで行って確認し県道だったら県に、交通事故等は警察に依頼し、通学路における危険箇所をチェックして改善を図ってきている。また、一勝地区の通学路の危険な部分は、令和2年7月豪雨災害を

受け、国道、県道の道路の決壊、陥没により学校が孤立してしまう危険性があるため、危険という言葉が使われている。

### 問

球磨村通学路推進会議では、どういう事を協議しているのか。

### 教育課長

毎年1回、会議、現場にスクールバスの運転手も参加して危険箇所等の現地確認に行き、安全対策推進会議を行い、必要に応じて関係機関に対して改善をお願いしている。また、スクールバス会議には、全運転手が参加し、情報を共有しながら安全で危険運転が無いように指導している。

### 問

当初一般会計予算に計上している高校生等教育支援補助金は、どうなっているのか。

### 村長

高校生等の就学に関する保護者の経済的負担を軽減するため、令和5年度一般会計予算に480万円を補助金として計上して、就学の実績に応じて支給する必要があるため、保護者から1年間の就学を確認する在学証明書を添付した実績報告書を提出していただき、年度末に確認し、その後支給する予定である。支給額は、月額一人5千円で年額6万円を支援することとしている。



宮園から球磨中までの通学路



「森林環境譲与税」これまでの取り組みと検証、目的に沿った使途となっているのか 永椎樹一郎議員



**答** 森林整備、人材育成、担い手の確保、木材の利用促進に係る事業を実施している。

がやっと最近になって動いたという経緯はある。

**問** 球磨村には、前倒しで「森林環境譲与税」が配分されているが、配分額は。

**産業課長** 令和元年度 約2,000万円、令和2年度約4,400万円、令和3年度約4,400万円、令和4年度約5,350万円、令和5年度は、令和4年度と同額の約5,350万円が配分の予定となっている。

**問** 「森林環境譲与税」は森林整備、土砂災害防止、森林環境、地球温暖化に伴う国土保全、水源涵養、森林が持つ公益的な意味がある。「森林組合」や「森林事業者」と協議会を立ち上げ、事業について考えていかなければならないと思うが。

**村長** 民有林、個人で整備ができない方の山がたくさんある。今回調査を行い、しっかりと分析し、そういった山をどう整備していくのか考えていかなければならない。この調査分析を基に計画を立て、今まで手が付けられなかった山について、整備し、環境等にも貢献できるような森林づくりを行っていききたい。



「森林環境譲与税」健全な森林整備のために

**問** 森林環境譲与税を財源として、「森林環境整備基金」に積立てられているが、現在の基金残高は。

**産業課長** 現在の基金残高は、令和4年度末で約3,359万円となっている。

**問** これまで、事業が出来なかった結果、基金に積立てを行っ

たと思うが、森林整備等の事業が出来なかった課題は何だったのか。

**産業課長** いわゆる本来の目的、意向調査なり、分析して、どのようにして森林整備を図っていくのか、イメージが湧かなかったこと。どのように進めていけばいいのか、わからなかったことにより、事業

**問** 「森林環境譲与税」は、球磨村にとって、非常にありがたい財源である。

令和6年4月から、国民一人当

**問** 振興策、地域の実情を考慮し、地域の再生、新たな地域づくりが必要となってくる。今後の計画、取り組みは。

**村長** 将来ビジョンとして、今以上に魅力ある住みやすい村としていくため、安全で安心な暮らしを確保することはもとより、人口減少、高齢化にも対応した新しい村づくりを描く必要がある。

復旧・復興期の検証及び課題整理を行い、復興・発展につなげる計画を策定したい。



「球磨村総合運動公園」は復旧、復興を支える生活の拠点である。名称変更の考えは

西林 尚賜 議員



## 答

災害前の使用の用途が変化している。今現在は考えていないが、将来的に検討していかねばならない。

## 問

総合運動公園の現況について、仮設住宅の入居状況は。

## 村長

総合運動公園の仮設住宅は、さくらドーム仮設団地とグラウンド仮設団地の2つの団地を設置している。災害公営住宅への入居など、住まいの再建が進み、空室が多くなっている。

## 総務課長

仮設団地の入居状況は、11月末現在、さくらドーム仮設団地9世帯、グラウンド仮設団地31世帯となっており、錦町の大王原仮設団地が6世帯となっている。

## 問

グラウンド仮設団地の一部が村有住宅として整備されるが、計画の状況は。

## 村長

芝生広場に設置された仮設住宅とグラウンドに設置された仮設住宅のうち、芝生広場側から3列目までを所得制限やペットを飼育され、災害公営住宅へ入

居できない方に向けた村有住宅として整備を行う。12月に県より仮設住宅の譲渡を受けた。

## 総務課長

村有住宅の整備計画は、芝生広場側は簡易改修として20戸、グラウンド内は芝生広場側から3列目までを間取り等を変更し、11戸、合わせて31戸を計画している。



村有住宅へ改修中の仮設住宅

## 問

総合運動公園は、災害からの復旧、復興の拠点として大きく変化している。今後、防災拠点として、新たな施設の活用方法は。

## 総務課長

総合運動公園は、緊急指定避難場所となっており、さくらドームを中心にその周辺施設を避難施設として設定している。仮設住宅、みんなの家、エスペランサ桜峰集会場等を活用し、避難所として考えている。

## 保健福祉課長

多目的広場に建設中の「千寿園」については、災害発生時の福祉避難所、介護が必要な高齢者や障害者の受入れができる体制を整える考えがあるということとを、運営を行う「慈愛会」から話を頂いている。

## 問

総合運動公園は、災害発生以降、その活用方法は大きく変化し、復旧、復興を支える生活の拠点となっている。名称の変更を考えないのか。

## 村長

災害前の使用の用途が変化している。今現在は考えていないが、将来的に検討していかねばならない。

## 問

球磨村農業委員会の農業委員及び農地利用最適化推進委員が改選された。約1年間空席になっている中立委員の人事状況は。

## 産業振興課長

中立委員は、公平公正を強く求められる組織の中で、農業分野以外の者の意見を反映させることが重要である。候補者を探しているが、適任者がいない状況である。

## 問

農業委員及び推進委員の年間報酬額が同額となっている。農業委員は議会の承認が必要であり、議決権を有している。報酬に差をつける必要があるのでは。

## 村長

農業委員及び推進委員の基本給が同額である根拠としては、村の農地や農業に関わる様々な課題に対して両委員が一体となって活動されている点である。

現在、村主導の災害に強い村づくりの  
取り組みと進捗状況は

高澤 康成 議員



**答** 災害に強く豊かな地域資源を後世に継承し、安全に安心して住み続けられる山里、村の復興を目指し、復興計画を策定し持続的な村の発展に向けた創造的な復興を進めている。

**問** 住民が望む創造的復興は、ビジョンの具体的、具現化する

ためプロセスを力強く表現すること、ソフト・ハードの両面の取り組みと考えるが、村主導の災害に強い村づくりの取り組みと進捗状況は。

**村長** 復興を進める上では、ソフト・ハード両面の取り組み

が必要で、ソフト面では、地域防災強化計画の下、地域再生に合わせた自主防災組織等の育成に努め、地域住民による被害拡大防止の自主的な活動と公民館等に備品等の整備も進め、また、毎年、村民プロック会議、全村民が非難について考

える日及び、防災学習を通じて村民の防災・減災意識の醸成を図り、初動態勢の充実に取り組んでいる。

ハード面では、災害発生時における被害拡大防止や応急対応、復旧、復興対策等の迅速かつ円滑な実施を図るため、避難道路の道路網の整備を進めている。

**問** 4月にスタートする球磨清流学園が目指す特色ある学校づくりのビジョンは。

**教育長** 1年生から9年生までの9年間を通して、系統的に行

うくまむらふるさと学を創設し、各学年の発達段階に応じて先人の

知恵や暮らしとともに、森や川に対する体験的、探究的創造的な学習でふるさと球磨村を学び、郷土に対する愛着と誇りを育み、教科とは別に、論理的思考力を育むために、小学校では令和2年度、中学校では令和3年度から教育課程に必須化しているプログラミングについて学びを進めていき、プログラミングの体験学習を通してスキルを身につけ、プログラミング検定試験に挑戦し、資格取得を目指していければと思っています。

**問** 農業振興における専門性を有する人材の確保の考えは。

**村長** 農業の現状と課題として、高齢者や後継者不足による労働力の低下や経営の縮小、農業

離れがあり、その対応として、農業の一部または全部を請負・受

託や借り受け等により農地を保全し、農業と農地回復を集团的に取り組む組織体制の育成と支援が必要であり、今後、地域農業が抱える課題に対応することができるだけ多様な人材確保と、村内外から担い手、作業員等を受け入れる体制づくりが必要と考えている。



球磨清流学園開校準備委員会

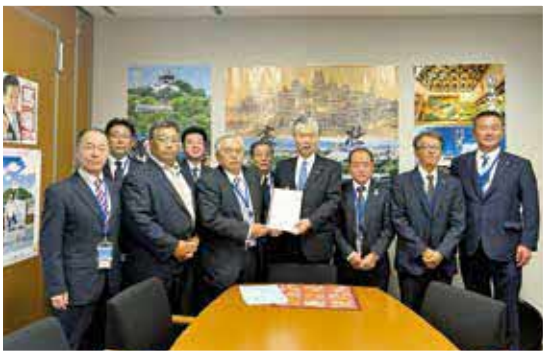


# 令和2年7月豪雨災害からの早期復旧と、 復興に係る財政支援を国会議員へ要望

令和5年11月1日、金子恭之衆議院議員、松村祥史国家公安委員会委員長、馬場成志参議院議員の3名へ要望書を手渡し、豪雨災害からの早期復旧と復興に係る財政支援を要望してきました。



金子恭之衆議院議員へ要望書を提出



馬場成志参議院議員へ要望書を提出



松村祥史国家公安委員会委員長  
(代理：下四日市秘書)へ要望書を提出

## 中学生子ども議会開催

令和5年12月21日、日球磨村中学生子ども議会が開催されました。球磨中学校の3年生が議長及び議員役となり、「第6次球磨村総合計画」の4つの基本目標をテーマに質問し、執行部と質疑が交わされました。中学生は球磨村の復旧復興に向けた地域の問題や村づくりを勉強した上で一般質問を考えており、中学生ならではの質問や提案も出されました。



中学生子ども議会で答弁する松谷村長

## 球磨村議会活性化特別委員会

球磨村議会では、球磨村議会活性化特別委員会において業務の効率化、ペーパーレス化を図り、議員と執行部の情報共有を円滑にするため、タブレット端末の導入を検討しています。これまでに、令和5年11月22日と12月26日の2回にわたり、実際に会議システムを使ったデモンストレーションを実施し、協議、検討を重ねており、今後、令和6年度中の導入を目指しています。



議会活性化特別委員会での研修の様子

# くまっこ 球磨中学校・第3学年



## 中学生子ども議会

3年 青山 仁紀さん

私たち3年生は、明るく活気溢れる学年です。2年生の終わりごろから、不安もいっぱいありましたが、リーダーとして、球磨中最後の卒業生として、生徒会活動、体育大会、文化祭、合唱祭、中体連大会、共通テストと、みんなで協力して頑張ってきました。この1年間で大きく成長できたと思います。

今は、高校入試に向けて、さらには将来に向けて、一人ひとりが一生懸命に頑張っています。球磨中生としての生活も残りわずかとなりましたが、これからも3年生全員で頑張っていきます。

担任 脇山 彰 教諭

『3年生の人権宣言は「PLAYERS」です。この言葉には、一人ひとりが主人公であり、次のステージへつなげていく「道」をみんなで切り開いていくという思いが込められています。』みんなで考えたこの目標の実現のために、お互いに高め合ってきました。1年前とは比べものにはならないくらい、心も体も成長し、逞しくなったと思います。

公立高校後期選抜が3月5日・6日に控えています。進路希望実現に向けて、みんなで支え合いながら、一人ひとりが努力を継続させ、可能性を拡げていってほしいと思います。

卒業証書授与式が行われる3月10日が、素晴らしい旅立ちの日になることを楽しみにしています。

### 編集後記

あけましておめでとうござい  
ます。本年も球磨村議会だより  
「急流」をよろしくお願ひ申し上  
げます。

新年早々の元日に発生した北  
陸地方をおそった大地震「令和  
6年能登半島地震」と翌1月2  
日夕刻に羽田空港滑走路で発生  
した航空機事故のニュースは、  
衝撃を受ける報道内容でした。

被災地では未だ、余震の心配  
があり、また、真冬の寒さ、降  
雪もあることから被災地の方々  
は、不安、不便を強いられてい  
ます。一刻も早い復旧、復興を  
願うばかりです。

私たちが住んでいる球磨村も  
豪雨災害だけではなく、あらゆる  
災害が発生する可能性があります。  
村民の生命、財産、生活  
を守るため、「災害に強い村づく  
り」の構築と併せ、災害、事故  
等に備え、行政、企業、住民の  
一人ひとりが危機管理の意識を  
強く持つておく必要があります。

### 議会広報特別委員会

- |      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 板崎 壽一  |
| 副委員長 | 西林 尚賜  |
| 委員   | 宮本 宣彦  |
| 委員   | 永椎 樹一郎 |

発行 熊本県球磨郡球磨村議会  
編集 議会広報対策特別委員会

〒869-6401 熊本県球磨郡球磨村大字渡丙1730番地  
TEL (0966) 32-1111 FAX (0966) 32-1230  
印刷/協和印刷

■球磨村世帯数:1,220世帯 ■人口:2,777人 男:1,340人 女:1,437人(令和6年2月1日現在)